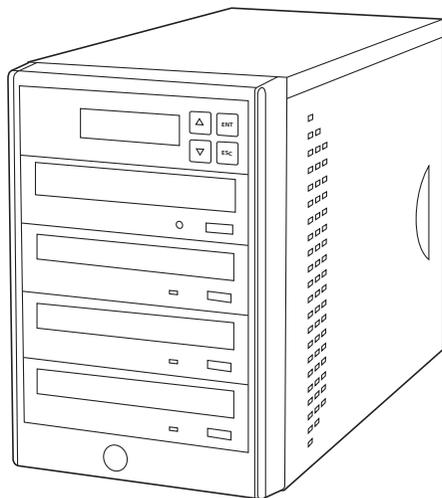


DVDデュプリケーター 取扱説明書 **ver.1.0**



この度は、DVDデュプリケーター「**400-DVDDU**」(以下本製品を
お買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①デュプリケーター 1台
- ②電源ケーブル 1本
- ③ユーザズガイド・保証書 1部

※欠品や破損があった場合は、**品番(400-DVDDU)**と
上記の番号(①～③)と名称(電源ケーブルなど)をお知らせください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

P.03	使用上のお願い 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください) 取扱い上のご注意
P.04	1.仕様 2.ご使用前に
P.05	3.各部の名称とはたらき
P.06	4.操作パネルについて
P.07	5.使用方法 電源に繋ぐ 電源をONにする
P.08	オンザフライコピー
P.09	6.機能一覧
P.27	7.トラブルシューティング
P.28	8.エラーコード一覧表

使用上のお願い

■著作権について

このデュプリケーターは、データのバックアップ、またはユーザーが著作権を所有している、または著作権ライセンスを取得しているメディアをコピーするために使用するように設計されています。このデュプリケーターによってコピーされたコンテンツのすべての著作権は、マスターディスクの作成者または会社に帰属します。無断複製、編集、著作権の侵害は法律で固く禁じられています。本製品を違法な目的で絶対に使用しないでください。本製品を使用し無断複製などの違法行為が行われた場合、弊社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

- 分解、改造はしないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります) ※保証の対象外になります。
- 水などの液体に濡らさないでください。(火災、感電、故障の恐れがあります)
- 本体に異常がある場合は使用を中止してください。(火災、感電の恐れがあります)
- 小さな子供のそばでは本製品の取外しなどの作業をしないでください。(小さい部品を飲み込んだりする危険性があります)

⚠ 注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

- 取付け取外しの時は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- 次のようなところで使用しないでください。
 - (1) 直接日光の当たる場所
 - (2) 湿気や水分のある場所
 - (3) 傾斜のある不安定な場所
 - (4) 静電気の発生する場所
 - (5) 通常の生活環境とは大きく異なる場所
 - (6) マグネットのような磁気のある場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)
- 本製品を長期間使用しない場合は、パッケージに入れて保管してください。

■お手入れについて

- (1) 清掃する時は電源を必ずお切りください。
- (2) 機器は柔らかい布で拭いてください。
- (3) シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

取扱い上のご注意

- メディア内のデータは、必ず他のメディア(USBメモリ、SDカード等)にすべてバックアップしてください。
※特に修復・再現のできない重要なデータは必ずバックアップをしてください。
※バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1.仕様

読取対応メディア	DVD-ROM、DVD-Video、DVD-Audio、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD+R Double Layer、DVD-R Double Layer、CD-ROM(Mode1 & Mode2)、CD-ROM/XA(Mode2 form1 & form2)、CD-DA、Mixed-Mode、Video CD、CD-I、Photo CD(Single & Multi-session)、CD-Extra、HFS、CD-Bridge、ISO9660、CD-R、CD-RW
最大書込速度	DVD-R:16x、DVD+R:16x、DVD-R DL:8x、DVD+R DL:8x、DVD-RW:6x、DVD+RW:8x、CD-R:48x、CD-RW:24x
同時書込枚数	3枚
バッファメモリ	128MB
サイズ・重量	約W178×D370×H260mm 約5.8kg

2.ご使用前に

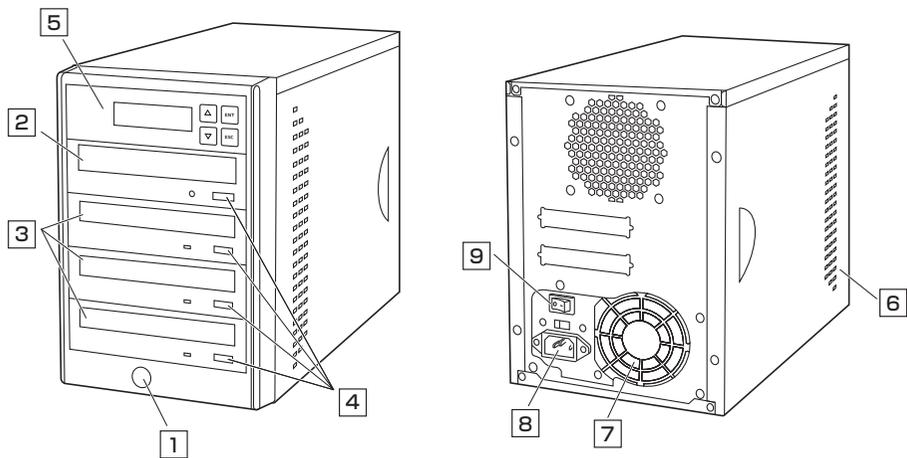
温度についての注意

室温が0°C以下の場所に24時間以上置いている場合は、電源スイッチをONにする前に、室温19°C以上の暖かい部屋に4時間置いてください。

メンテナンスについて

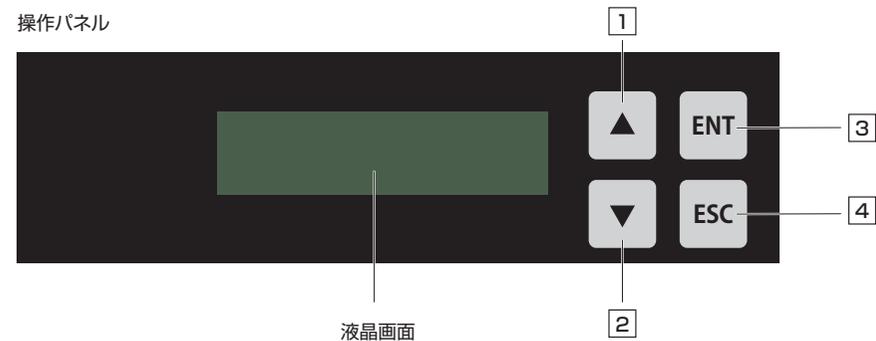
ホコリが一番の故障原因となる恐れがあります。なるべくホコリのない場所で作業してください。本製品の隣に空気清浄機を置き、常にエアダスターを使用して、設備の表面上に付着したホコリ吹き飛ばすことを強くお勧めいたします。

3.各部の名称とはたらき



名称	機能
1 電源スイッチ	電源をON・OFFします。
2 読み込みドライブ	コピー元になるDVDを差し込みます。
3 書き込みドライブ	コピー先になるDVDを差し込みます。
4 イジェクトボタン	DVDをドライブから取出します。
5 操作パネル	操作を行います。
6 本体換気口	本体内の熱気を排出します。
7 電源用排熱ファン	本体内の熱気を排出します。
8 電源コード差込口	付属の電源コードを差します。
9 主電源スイッチ	主電源をON・OFFします。

4.操作パネルについて

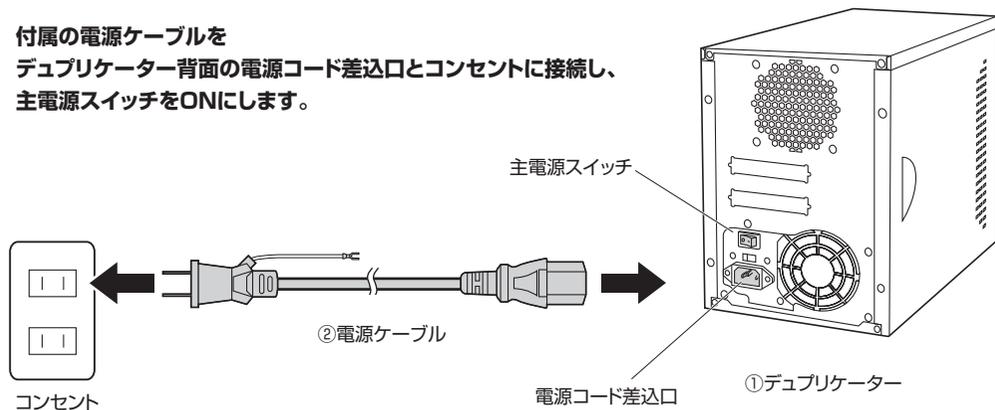


ボタン	名称	機能
1 ▲	上ボタン	メニューや設定を上に変更します
2 ▼	下ボタン	メニューや設定を下に変更します
3 ENT	決定ボタン	・メニュー選択では次の画面に進みます ・選択した内容を決定します
4 ESC	キャンセルボタン	・メニュー選択では前の画面に戻ります ・選択した内容をキャンセルします

5 使用方法

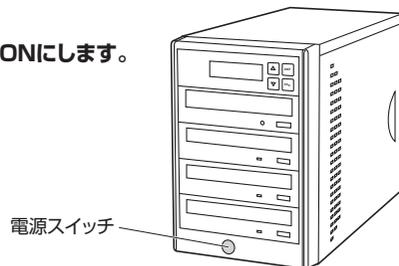
電源に繋ぐ

付属の電源ケーブルを
デュプリケーター背面の電源コード差込口とコンセントに接続し、
主電源スイッチをONにします。



電源をONにする

電源スイッチを押し、電源をONにします。



電源を入れると本製品はメディアを検出し、
数秒間自己診断を行い、液晶画面に以下のメッセージを表示します。

起動中…

Disc Duplicator
ARS-1XXC31 ※※※

※バージョンアップにより
更新する場合があります。

起動が完了すると、最初の機能である「1.コピー」が表示されます。

1.コピー

オンザフライコピー

オンザフライコピーは、コピーする CD/DVD から読み取ったデータをそのまま直接ブランクメディアにコピーします。
このコピー方法は手軽で手早くコピーできて便利ですが、コピーするDVDから毎回読み出すため、繰り返し回数が多い場合、読み出しが不安定になることがあります。いきなりコピーすることに不安がある場合は、まず「2.テスト」からお試ください
(詳細は9ページの「6.機能一覧」をご確認ください)。「2.テスト」は実際の書き込みは行わないため、たとえ失敗したとしてもメディアが無駄になることはありません。

1 コピー元となるDVDを用意します。

※プロテクト(CSS)がかかっている市販のDVDビデオなどはコピーできません。

2 コピー先となる空のメディア(DVD-R、DVD-RWなど)を用意します。

※メディアの種類、メーカー、品番は同一のものをご使用することをお勧めします。

3 コピー元となるDVDを一番上のドライブにセットします。



4 コピー先のメディアを他のドライブにセットします。



5 ENT(決定)ボタンを押します。自動的にトレイが押し込まれコピーが始まります。

コピーが終わると正常にコピーされたディスクがイジェクトされます。
万一、コピーに失敗したディスクはイジェクトされませんので、ドライブ前面のイジェクトボタンで取り出してください。

6.機能一覧

1.コピー

ソース(元ディスク/イメージ)から、ターゲットドライブ(書き込みドライブ)に、インスタントコピーを行う機能です。
詳細は8ページをご確認ください。

2.テスト

デュプリケート機能のシミュレーションをする機能です。メディアへのデータ書き込みは行われません。
読み込みドライブにソースディスクをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。
なお、テスト機能が利用可能なのは、DVD-R規格のディスクのみです。

2.テスト

ENT(決定)ボタンを押して、シミュレーションを開始します。
データの入っているDVDリライタブルディスクを使用している場合、液晶画面に以下のように表示され、データは自動的に消去されます。

Erasing disc

液晶画面にはテストの情報が表示されます。

Test中	8X	40%
213.4MB		1:30

テストが終了すると、以下のように結果が表示されます。

成功 : 01
時間 : 00:07:30

! テスト中にテストを停止しても、DVDには影響ありませんが、データの入っているリライタブルディスクを使用している場合、データは破損します。

3.テスト&コピー

最初にテストを行った後、実際のコピーを行います。
3.テストコピーを選択し、読み込みドライブにソースディスクをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。

3.テストコピー

ENT(決定)ボタンを押して、シミュレーションを開始します。液晶画面に以下のようにテストの情報が表示されます。

Test中	8X	40%
213.4MB		1:30

テストが終了すると、実際のコピーが始まり、液晶画面には以下のように表示されます。

Copy中	8X	40%
213.4MB		1:30

すべてのプロセスが終了すると、以下のように結果が表示されます。

成功 : 01

! テストをクリアしたディスクはすぐにコピーが開始され、テストにクリアしなかったディスクにはコピーが行われません。

4.ベリファイ

CD/DVDに書き込まれたデータを検証する機能です。

4.ベリファイ

ENT(決定)ボタンを押して、検証を開始します。
液晶画面に以下のように情報が表示されます。

検証中	6X	10%
213.4MB		1:30

検証が終了すると、以下のように結果が表示されます。

成功 : 01
時間 : 00:07:30

5.コンペア

コピー終了後に、ソースディスクとターゲットディスク間で比較を行い、同一の内容かどうか確認する機能です。
5.コンペアを選択し、読み込みドライブにソースディスクをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。

5.コンペア

ENT(決定)ボタンを押して、コンペアを開始します。
液晶画面に以下のようにコンペアの情報が表示されます。

比較中	7X	0%
4213.4MB		7:30

コンペアが終了すると、以下のように結果が表示されます。

コンペア	完了: 0
NG: 2	差異あり: 0

ENT(決定)ボタンを押すと、ソース1の詳細が表示されます。

複製元00 SUPER MUL
Total : 1277.2MB

6.機能一覧(続き)

コンペアに失敗すると、液晶画面には失敗された旨が表示されます。
ENT(決定)ボタンを2回押すと、液晶画面にはソース1とソース2で内容が一致しない旨が表示されます。

Tgt : 01 DVD DUAL
TOC 一致しません

6.プリスキャン

ソースドライブが正しく読み込み可能かを検査し、それによって読み込み速度のテストを行う機能です。
6.プリスキャンを選択し、読み込みドライブにソースディスクをセットします。

6.プリスキャン

ENT(決定)ボタンを押すとプリスキャンが始まり、
液晶画面に以下のようにスキャンの情報が表示されます。

Scan中 14X 20%
4213.4MB 0:37

スキャンが終了し、ソースディスクが正常に読み込みできる場合、液晶画面には結果が表示されます。

成功 : 01
時間 : 00 : 02 : 06

7.ディスク情報

ソースディスクに関する簡易レポートを表示する機能です。
7.ディスク情報を選択し、読み込みドライブにソースディスクをセットします。

7.ディスク情報

ENT(決定)ボタンを押すとソースディスクかターゲットディスクどちらの情報を表示するか選択できます。

7-1.ディスク情報
ソース

スキャンが終了し、ソースディスクが正常に読み込みできる場合、液晶画面には結果が表示されます。

DiscType : DVD-R
データ容量 : 1277MB

8.ドライブ選択

ソースとなるドライブを選択する機能です。

8.ドライブ選択

ENT(決定)ボタンを押してソースドライブを選択します。

複製元SUPER MULTI
00 CH00

ソースとなるドライブを決めENT(決定)ボタンを押すと、以下のようにソースドライブが設定されます。

S-MULTIを指定した

10.トラック編集(オーディオ CD 使用時のみ)

オーディオCDからお気に入りの音楽を編集することに特化した機能です。
つまり、個々のオーディオCDからお好みの曲を選び、一つのCDに収録することのできる機能です。
この機能には2つのサブメニューがあります:「CDからCDへ編集」、「セッションを閉じる」。

10.トラック編集

10-1. CDからCDへ編集

CDから好きな曲を選び、空のCD-R/RWにコピーすることができます。

10-01.トラック編集
CDからCDへ 編集

ENT(決定)ボタンを押すと、以下のような液晶画面が表示されます。
"1/10"の表示は、10トラック中の一曲目という意味です。また、"03:55"のような表示はトラックの再生時間です。

Select Track
1/10 03:55

▼(下)ボタンでトラックの移動が可能です。収録したい曲を決めたらENT(決定)ボタンを押します。
トラックナンバーの横に"+"が表示され、曲が選択されたことを示します。
この状態でもう一度決定ボタンを押すと、"+"が消え、選択が解除されます。

Select Track
End 5Trk15:55

6.機能一覧(続き)

曲の選択を終えたら、▲▼(上下)ボタンでENDに合わせます。
ENT(決定)ボタンを押すと、CD編集を終了し、▲▼(上下)ボタンで書き込みを開始するかどうか選択します。
システムは編集を続行するか確認を求めます。▲▼(上下)ボタンで Yes/No を選択します。
編集を続行する場合ソースドライブのトレイが自動的に開き、システムは次に使用したいCDをセットするように表示します。

Insert next disc

編集終了後、セッションを終了するか確認を求められるので、▲▼(上下)ボタンで Yes/No を選択します。
セッションを終了すると、それ以上トラックを追加することができません。

Close all disc's
Session ? Yes



市販のオーディオプレーヤーは、オープンセッションディスクを再生できない場合があります。互換性を最大化するように、セッションを終了することをお勧めします。

10-3. セッションを閉じる

オーディオCDの書き込みセッションを終了し、それ以上データが書き込みできないようにします。
セッションを終了したオーディオCDは、通常のプレーヤーで再生し、音楽を聴くことができます。

10-03.トラック編集
セッションを閉じる

12.設定

初期設定の変更が可能です。設定を変更する場合、ENT(決定)ボタンで設定することを忘れずに行ってください。
通常使用では、初期設定を変更せず使用することをお勧めします。

12.設定

12-1. 言語設定

液晶画面に表示される言語が変更できます。:英語、スペイン語、日本語、中国語(繁体)、中国語(簡体)、フランス語、トルコ語。

12-01.設定
言語設定

12-2. 書込速度

ディスクの書き込みの速度を設定できます。

12-02.設定
書込速度

ENT(決定)ボタンを押すとDVDの書き込み速度が表示されます。
▼(下)ボタンを押すと設定するディスクの種類を選択できます。

12-3. 読込速度

ターゲットドライブの読み込み速度を指定できます。

12-03.設定
読込速度

12-4. 自動開始ドライブ

自動開始に指定したドライブは空のメディアを挿入すると自動的にコピーまたはテストを開始します。

12-04.設定
自動開始ドライブ

初期状態では、設定はオフになっています。▼(下)ボタンでコピーまたはテストを開始したいドライブを選択します。

12-5. 起動メニュー

起動時にどのメニューを表示させるかを設定できます。

12-05.設定
起動メニュー

12-6. 自動ベリファイ

コピーの終了後、自動的にベリファイを行う機能です。
初期設定では自動ベリファイはオフになっています。▼(下)ボタンでオン・オフの切替えが可能です。

12-06.設定
自動ベリファイ

12-7. 自動コンペア

コピーの終了後、ソースディスクとターゲットディスクの内容を自動的に比較検証する機能です。
初期設定では自動コンペアはオフになっています。▼(下)ボタンでオン・オフの切替えが可能です。

12-07.設定 自動コンペア

12-8. 自動プリスキャン

ソースディスクが読み込み可能になると、自動的にスキャンを行う機能です。
初期設定では自動プリスキャンはオフになっています。▼(下)ボタンでオン・オフの切替えが可能です。

12-08.設定 自動プリスキャン

12-9. ディスク排出設定

ディスクの取り出しを設定できます。
成功Discのみ排出:コピー終了後、コピーが成功したディスクのみを取出します。
全Discを排出:コピー終了後、コピーの成否に関わらずすべてのディスクを取出します。
排出せず:コピー終了後、手でトレイを開いて取出す必要があります。
初期設定では「成功Discのみ排出」に設定されています。

12-09.設定 ディスク排出設定

12-10. オンザフライ

コピー方法を設定できます。
オンザフライをオンに設定すると、ソースディスクからターゲットディスクへ直接コピーが行われます。
オフに設定すると、一度HDDのパーティション内にイメージとして読み込まれ、その後コピーが行われます。
初期設定ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

12-10.設定 オンザフライ

12-11. コピーモード

書き込みのモード変更を行うことができます。
2つのモードが選択できます:DAO(Disc At Once)、TAO(Track At Once)。
初期状態ではDAOモードに設定されています。▼(下)ボタンでTAOモードに変更できます。

12-11.設定 コピーモード

12-12. 作業所要時間の表示

コピー時に残り時間の表示を行うか設定が可能です。
初期状態ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

12-11.設定 作業所要時間の表示

12-13. ビープ音設定

操作音の設定を行うことができます。
初期設定ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

12-13.設定 ビープ音設定

12-14. デバイス情報

接続されている光学ドライブの情報を表示します。

12-14.設定 デバイス情報

12-15. システム情報

コピーコントローラのシステム情報を表示します。

12-15.設定 システム情報

12-16. クイック消去

DVDリライタブルディスクのデータを高速で消去します。

12-16.設定 クイック消去

12-17. 標準消去

DVDリライタブルディスクに書き込まれたデータを完全に消去します。
クイック消去に比べて、標準消去は長時間を要します。

12-17.設定 標準消去

12-18. トレイ自動引込時間

書き込みドライブのトレイを選択時間通りに自動的に閉じる機能です。
閉じてから「12-4.自動開始ドライブ」もしくは「2.テスト」と関連して行うことができます。

12-18.設定 トレイ自動引込時間

12-19. クイックコンペア

「5.コンペア」と関連する機能で、エラーの許容量をバイト単位で指定します。
ターゲットディスクに、指定したバイト数を超えるエラーが起きた場合、そのドライブについては、コンペア作業を停止させます。
初期状態では、クイックコンペアはオフになっています。▼(下)ボタンでエラー許容量を指定します。
:1 Byte、1KB、10KB、100KB、1MB、10MB、100MB

12-19.設定 クイックコンペア

12-20. トレイインアウト

ドライブトレイをイジェクトする機能です。初期状態はトレイが全体一斉でイジェクトします。
ENT(決定)ボタンを押し、イジェクト回数を2回分割に変更できます。

12-20.設定 トレイインアウト

12-21. 起動時間設定

システムの起動時にデバイスのスキャン時間を延長する機能です。
初期状態では、5秒になっています。▼(下)ボタンで延長時間を最長99秒に指定できます。

12-21.設定 起動時間設定

12-22. 起動時トレイ排出

システムの起動時にトレイが全体一斉でイジェクトする機能です。
初期状態ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

12-22.設定 起動時トレイ排出

12-23. トレイ再検証

特別に品質の悪いディスク用に設ける機能で、ディスクは認識エラーが発生した場合、ディスクを2回検証します。
初期状態ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

12-23.設定 トレイ再検証

12-24. 書込速度の表示

液晶画面にCD/DVD/BDドライブの書き込み速度が表示されます。
初期状態ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

12-24.設定 書込速度の表示

12-25. Audio CDコンペア(対応可能ドライブのみ使用可能)

この機能进行操作するには、以下を準備します。
・“オーディオ CD コンペア”に対応可能な Vinpowerコントローラ
・“オーディオ CD コンペア”に対応可能なODDドライブ
・ビュアオーディオ CD(シングル セッション、マルチトラック)

- ①ファームウェアバージョン1.05以降のバージョンに対応しているか確認します。
そうでない場合は、まずは最新版ファームウェアに更新してください。
- ②電源を入れて起動します。
- ③▼(下)ボタンで「12.設定」までスクロールします。
ENT(決定)ボタンを押すとセットアップに入ります。

12.設定

- ④▼(下)ボタンで「12-25. Audio CDコンペア」までスクロールしてから、ENT(決定)ボタンを押します。

12-25.設定 Audio CDコンペア

- ⑤▼(下)ボタンで1秒に1回押して「オン」を選択し、ENT(決定)ボタンを押してから設定の変更を確認します。
- ⑥ESC(戻る)ボタンを押してメインメニューに戻ります。

オンに設定すると、自動コンペアと関連します。
コピー作業が開始される前に、液晶画面には“Audio CD Compare Activated”が1秒間表示されます。

13.詳細設定

アドバンスセットアップは通常非表示になっています。
ESC(戻る)ボタンを2秒間押し続けると次(13-01)のように表示されます。

13-01.詳細設定

13-1. バーンプルーフ

バッファアンダーラン保護機能をオン・オフします。
初期状態ではオンに設定されています。▼(下)ボタンでオフに設定できます。

13-01.詳細設定
バーンプルーフ

13-2. オーバーバーン

ディスクの記録可能領域のリミットを超えて書き込むかどうかを指定します。
初期状態はオフなので、変更する場合は▼(下)ボタンでオンに設定できます。
※オンにするとオーバーバーンによりDVDライターにダメージを受け、データが不完全になる恐れがあります。

13-02.詳細設定
オーバーバーン

13-3. 読み込みエラーを無視

コピー中に読み取りエラーなど、何が起ころうとも無視してコピーを続行します。
通常、コピー中に読み取りエラーなどが起こると液晶画面に表示が出てコピーは中断されますが、この「13-3.読み込みエラーを無視」を使用することにより、欠陥のあるディスクをコピーすることができます。
初期状態はオフなので、変更する場合は▼(下)ボタンでオンに設定できます。

13-03.詳細設定
読み込みエラーを無視

13-4. HDD フォーマット

パーティションを作る機能です。ただしフォーマット後、HDD内のすべてのデータは削除されます。

13-04.詳細設定
HDD フォーマット

コピーコントローラーが液晶画面に接続されていない場合、液晶画面には以下のように表示されます。

HDD 未検出
Formatしてください

13-6. バーンイン

模擬動作を何回も繰り返します。回数の指定は1から1000までです。
それぞれのサイクルが終了すると、DVDドライブのディスクは自動的にイジェクトされます。

13-06.詳細設定
バーンイン

ENT(決定)ボタンを押すと以下のように表示されます。テストは単純な模擬書き込みです。
コンペア、消去&コピーが選択可能です。

バーンイン
テスト

ENT(決定)ボタンと▼▲(上下)ボタンでトレイ取出しの間隔秒数を10秒、30秒、60秒、90秒、150秒、180秒と選択します。
初期設定は60秒になっています。

トレイ排出時間設定
60秒

ENT(決定)ボタンと▼▲(上下)ボタンで模擬動作の回数を 1、2、3、...、10000 または連続(continuous)と選択します。

焼き回数を設定
Run Continuous

- 消去&コピーは消去と書き込みを繰り返す動作であるため、リライタブルメディアのみが使用可能です。
- コンペアは、ソースとターゲット間で、同一の内容かどうかを比較します。オーディオCDはECCがないためコンペア機能に対応しません。
- テストは模擬動作を行うことで、DVD+Rには対応しません。

13-7. ファームウェア更新

ファームウェアを最新版のものにアップデートします。

13-07.詳細設定
ファームウェア更新

ホームページ <http://www.vinpowerdigital.com> から最新版バージョンをメール発送でもしくは直接ダウンロードします。
zipファイルなら解凍しておく必要があります。binファイルなら解凍する必要がありません。そして、メディアにコピーします。
このメディアをデバイスにセットしてENT(決定)ボタンを押すと新しいファームウェアを探しに行き、探し当てた場合は液晶画面に以下のように表示されます。

Searching F/W ...
XXX/XXXX

13-8. ファームウェア比較

現在のファームウェアとダウンロードしたバージョンを比較し、ダウンロードしたバージョンが新しいものであることを確認できます。

13-08.詳細設定
ファームウェア比較

13-9. システム自動診断

本製品が正常に動作しているか自己診断を行います。

13-09.詳細設定
システム自動診断

ENT(決定)ボタンで、まず液晶画面の診断から始まり、ボタン、SDRAM、機器の接続、そしてフラッシュのテストを行います。テストの結果は液晶画面に次のように表示されます。

LCD テスト開始

すべてのテストが終了すると、液晶画面に以下のように表示されます。

13-09.詳細設定
システム自動診断

13-10. デフォルトに戻す

すべての設定を初期状態に戻します。

13-10.詳細設定
デフォルトに戻す

ENT(決定)ボタンで次のように表示されるので▲▼(上下)ボタンで実行可否を確認します。

デフォルト
の状態へ？はい

初期設定値のロードが終わると結果が以下のように表示されます。

Load Default
OK!

13-11. CD+G

CD+Gの特別なコピーフォーマットをサポートします。

13-10.詳細設定
CD+G

ENT(決定)ボタンで以下のように表示されるので▼(下)ボタンでサポートオンにする場合は変更します。

CD+G
オフ

13-12. ISRC & MCN

ISRCとMCNという特別なコピーフォーマットをサポートします。

13-12.詳細設定
ISRC & MCN

ENT(決定)ボタンで以下のように表示されるのでISRCもしくはMCNをサポートする場合は▼(下)ボタンでオンにします。初期状態はオフです。

ISRC & MCN
オフ

13-13. USB外部接続

USBオプションの有無を指定します。USBオプションにより、コピーコントローラーがパソコンに接続されている場合(CN1をAEC-4420Sに接続)、USBモードに切り替えることができます。

13-13.詳細設定
USB外部接続

初期状態ではオフに設定されています。▼(下)ボタンでオンを選択します。

USB外部接続
オフ

初期状態(オフ)に戻すと、デュプリケーターコントローラーは再び自動的に再起動されます。

13-14. CD-TEXT

CD-TEXT形式の特殊なフォーマットで作成されたCDをコピーします。

13-14.詳細設定
CD-TEXT

初期状態ではオフに設定されています。▼(下)ボタンでオンを選択できます。

ISRC & MCN
オフ

13-15. パスワード

コピーコントローラーを保護するパスワードを設定します。

13-15.詳細設定
パスワード

初期状態ではオフに設定されています。

パスワード入力
オフ

▼(下)ボタンで以下のように表示されます。

初期設定または古いパスワードを新しいパスワードに変更することができます。

パスワード入力
パスワードを変更

▼(下)ボタンで以下のように表示されます。

パスワード入力
オン

▲▼(上下)ボタンで初期設定値 85122290 を入力します。

パスワードは1~13文字で構成する必要があります。文字は、A、B、C など、もしくは 1、2、3 など、または両方を組み合わせます。希望の数字またはアルファベットを選択し、ENT(決定)ボタンを押します。

古いパスワード
?

新しいパスワードを入力します。

新しいパスワード
?

13-16. ディスクカウンター

コピーしたディスクの数を計算します。

13-16.詳細設定
ディスクカウンター

ENT(決定)ボタンで以下のように履歴が表示されます。

ディスクカウンター
ディスク枚数閲覧

ENT(決定)ボタンを押すと、次のようにジョブカウンター(JC)が表示されます。すべてのコピータスクでコピー済み/削除可能な枚数が記録されます。

JC OK : 000000001
Fail : 000000000



LC(ライフカウンター)の履歴も確認できます。コピーしたディスクの数が記録されますが、コピー済みのディスクは削除不可となります。液晶画面にライターの検索結果が表示される時に、ESC(戻る)ボタンを押し続けると、LCの履歴が表示されます。▲(上)ボタンで戻ります。

▼(下)ボタンを押すと、次のようにDVDライター2の履歴が表示されます。

▼(下)ボタンで他のライターの履歴が表示されます。このような履歴は削除可能です。

02 OK : 000000001
Fail : 000000000

▲(上)ボタンを押すとジョブの履歴に戻ります。ENT(決定)ボタンで以下のように表示されます。

ディスクカウンター
ディスク枚数閲覧

▼(下)ボタンを押すと以下の表示になります。ジョブ内の履歴を削除することを▲▼(上下)ボタンで Yes/Noを確認します。

ディスクカウンター
Job Counter削除

▼(下)ボタンを押すと以下の表示になります。DeviceとはDVDライターデバイスのことです。

ディスクカウンター
Device Counter削除

6.機能一覧(続き)

ENT(決定)ボタンで次のように表示されます。

ENT(決定)ボタンを押すことでDVDライター2の履歴を削除します。ESC(戻る)ボタンで終了します。

DeV 00 Counter削除
ENT : 削除 ESC : 戻る

13-17. イメージ自動保存

イメージファイルをHDDの指定パーティションに自動的に保存する機能です。

13-17.詳細設定
イメージ自動保存

13-18. ドライブFWの更新

接続しているドライブがこの機能に対応可能となります。コントローラーでドライブのファームウェアを更新します。

13-18.詳細設定
ドライブFWの更新

ドライブの公式ウェブサイトからファームウェアをダウンロードし、CD-R/RWに書き込んでください。

No F/W File

13-21. 音楽CDインデックス

インデックスの特殊なコピーフォーマットをサポートします。

13-21.詳細設定
音楽CDインデックス

初期状態では「オフ」に設定されています。

音楽CDインデックス
オフ

13-22. 自動開始時間設定

数秒以内に自動的にコピーする機能です。

13-22.詳細設定
自動開始時間設定

初期状態では「5秒」に設定されています。

自動開始時間設定
5

ENT(決定)ボタンと▼▲(上下)ボタンでオフまたは1~99秒を選択します。

13-23. デバッグモード

この機能は製造元からの指示と許可がない限り使用しないでください。

13-23.詳細設定
デバッグモード

7 トラブルシューティング

Q. 電源を入れても液晶画面に何も表示されない。

- A. 1. 電源コードが接続されているか、通電しているかを確認してください。
2. 室温が0℃以下の場所に24時間以上置いている場合は、電源スイッチをONにする前に、室温19℃以上の暖かい部屋に4時間置いてください。

Q. エラーメッセージが表示された。

- A. コピー、テスト、コンペア、ベリファイなどを行っている際にESC(戻る)ボタンで途中停止すると、エラーメッセージが液晶画面に表示されます。この時まれにコピーコントローラがハングアップする場合がありますが、その場合は再起動を行ってください。
読み込みに失敗した場合も、液晶画面にエラーメッセージが表示されます。この場合、別のソースディスクをご用意ください。また、コピーコントローラ起動時にデバイスが検出されない場合にも液晶画面にエラーが表示されます。

Q. ドライブが読み取れない。

- A. ソースディスクの形式と、ディスクに傷がついていないか確認してください。
任意のODDライターでソースディスクを読み取ってみてください。正常であれば、ODD-ROMIに欠陥があるか、ソースディスクとの互換性問題を考えられます。

Q. コピーしたディスクが読み込めない。

- A. コピーしたディスクが読み込めない場合、コンペア機能を使って比較検証してみてください。またメディアを交換して試してみてください。

Q. 頻繁にコピーを失敗する。

- A. このような場合、以下の点を確認してください。
- DVDライターの書き込み速度を下げる。
 - コピー用の空メディアの品質に問題がないか確認する。
 - ファームウェアのアップデート。

Q. ファームウェアアップデートが上手くいかない。

- A. ファームウェアのアップデートがうまくいかない場合、適切なファームウェアをダウンロードしているか確認してください。誤ったファームウェアを適用してしまうと、コピーコントローラが起動しなくなります。

Q. 詳細設定を行いたい。

- A. ESC(戻る)ボタンを2秒間押し続けてください。

Q. 操作中の動作(コピー、テスト、ベリファイなど)を取り消したい。

- A. ESC(戻る)ボタンを2秒間押し続けてください。

8.エラーコード一覧表

1. 通常表示されるメッセージ

全てのデータを消去?	ディスクのデータがすべて消去されます。確認してください。
分析中.....	ソースディスクの分析中。
オーディオ CD! コンペア不可能!	オーディオディスクではコンペア機能は利用できません。
TOC 読みません	ディスクの内容を読み込むことができません。
ターゲット確認中 お待ちください....	ターゲットデバイスをチェック中。
ドライブ検査	接続されているドライブを検出中。
DVD-RW サポートしません。	DVD-RW はこの機能をサポートしません。
消去完了しました	データの消去が完了しました。
ディスク消去中	ディスク上のデータを消去しています。
デバイス情報NG!	ドライブの情報が取得できません。
プリスキャンNG!	ソースディスクの情報が取得できません。
ESC でモード終了	テストを終了させるには、キャンセルボタンを押し続けてください。
同一	コンペアの結果、内容が同一でした(コンペアに成功しました)。
SDRAM初期化	システムのメモリを初期化しています。
デフォルト?	デフォルト設定を読み込みますか?
DVD-RW消去可能なディスクが入っています	DVD-RW 内のディスクが上書きできません。
準備中	システムは記録の準備中です。
コピー失敗 キーを押して	コピーに失敗したディスクを取り出すにはキーを押します。
コピー成功 キーを押して	コピーに成功したディスクを取り出すにはキーを押します。
読み込みエラーを無視	コンペア中にディスクが読み込めなくなりました。
新しい設定が保存NG!	新しい設定が保存できませんでした。
読み込みディスク空白	ソースディスクに何も情報がありません。
読み込みディスク準備できていません	ソースディスクの読み込みが準備できていません。
読み込みドライブ準備できていません	ソースドライブの読み込みが準備できていません。
Src&Tgt can't in the same channel	コンペアを行う場合、ソースディスクとターゲットディスクは同じチャネルに接続できません。
ターゲットディスク空ではない	ターゲットディスクにデータが存在しています。
ターゲットディスク準備できていません	ターゲットディスクに書き込み準備ができていません。
ターゲットドライブ準備できていません	ターゲットドライブに書き込み準備ができていません。
書き込みDisc容量不足	ターゲットディスクの空き容量が不足しています。
TOC 一致しません	コンペアの結果、内容が一致しませんでした。
中断!	操作中にキャンセルされました。

8.エラーコード一覧表(続き)

2.オーディオエディットモード

全てのDisc sessionを閉じる?	ディスクセッションを終了しますか?
次のディスク編集を続ける?	音楽ディスクの編集を続けますか?
ディスク編集終了後すぐ焼く?	編集を終了して書き込みを行いますか?
選択したトラックを消去?	トラックの選択を終了し、編集情報を破棄しますか?
新ディスクを入れて続ける?	空メディアを入れ替えてコピーを続けますか?
次のディスク差込	次のオーディオ CD を挿入してください。
このディスクにAudio トラックなし	ソースディスクにオーディオトラックが収録されていません。
既に全てのSessionは閉じています!	ディスクとのセッションは終了済みです。
書き込みDisc容量不足再び選択	選択したトラックを収録するにはディスク容量が不十分です。トラックの選択をやり直してください。
書き込みDisc容量不足最終トラックは削除?	選択したトラックを終了するにはディスク容量が不十分です。最終トラックは削除してよろしいですか?

3.ファームウェア アップデート

Check Sum エラー!	アップデートしたファームウェアに問題があります。
Flash ROM NG	フラッシュROM にデータが書き込めません。
ファームウェア無効	ディスクに正しいファームウェアが収録されていません。
前回更新した F/W失敗	ファームウェアのアップデートに失敗しました。
前回更新した F/W成功	ファームウェアのアップデートに失敗しました。
F/W 検索中	適切なファームウェアを探しています。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381
CF/AH/HWDe